



## 山梨県及び甲府市手話通訳者認定試験

今年度は新型コロナウイルス感染症下にありましたが、手話通訳者養成講習会通訳Ⅲ・試験対策講座を無事終了し、12月5日(土)令和2年度山梨県及び甲府市手話通訳者認定試験を行いました。5名の方が受験しました。

○合格発表は令和3年3月2日(火)です。  
試験内容は筆記試験、場面通訳、面接です。



場面通訳



筆記試験



面接

### 講演会

成人学級

[with コロナ ・ After コロナ]

(コロナと共に)

(コロナの終息後)

〈講師〉 山縣 然太郎 氏(山梨大学医学部社会医学講座 教授)

〈日時〉 令和3年1月31日(日)

- ・1時半から 説明「遠隔手話通訳サービスについて」
- ・2時から 講演 (第3面を参照、状況の変化も踏まえて講演いただきます)

〈場所〉 福祉プラザ4階大会議室

※対象者：聴覚障害者のみ

新型コロナウイルス感染症対策のため  
定員を設けています

情報保障(要約筆記)が必要な方は、一週間前までに申込みをお願い致します。



# ペンリレー

～いつでも・どこでも・より良い意思疎通支援を～

聴情センターや聴覚障害者を取り巻く環境など、センターの運営にご意見をいただく委員会のメンバー5名の方に寄稿していただくコーナーです。  
今回は運営委員の小椋様です。

(一社)日本手話通訳士協会 会長  
小椋 英子 氏



聴覚障害者情報センター運営委員の小椋です。聴覚障害者及び意思疎通支援者の拠点としての情報センターの充実・発展に微力ながら協力したいと思います。

1968年全日本ろうあ連盟は「あらゆる公共機関に手話通訳を」とのスローガンを掲げ、その後「いつでもどこでも手話通訳を」との理念に発展していきます。現在、聴覚障害者の社会参加が進む中で、意思疎通支援者である手話通訳者や要約筆記者の役割は大変重要なものになっています。このような中、私たちが心掛けることは「いつでも・どこでも・よりよい意思疎通支援」だと思います。

意思疎通支援事業の取り組みは、聴覚障害者の社会参加の推進にとどまらず、社会の中で公平な条件のもとで対等に生きていくための取り組みでもあります。情報センターでは様々な、講座、研修会を行っています。よりよい意思疎通支援を行うために、みんなで集い学習を続けましょう。

## 全国統一要約筆記者認定試験

《日程》令和3年2月21日(日)

《会場》情報センター

《試験内容》筆記試験、実技試験(手書き・パソコン)



○合格者は令和3年3月17日(水)ホームページに掲載します。

○2月20日(土)の午後～21日(日)は、試験のため会議室等を利用ができません。

※編集者から 「ヤングケアラー わたしの語り」(発行 生活書院)がセンター内で回覧されました。感想はなんとも表現がし難いのですが 文章は力強く、未来は変えられるはもちろん、今の思いで過去も変えられる そんなことを感じました。

# 「新型コロナウイルスと共に生きる」と題して講演

新型コロナウイルス感染症は第3波が到来したとされ、全国の1日の感染者数が3000人を越えました。この山がさらに高くなるのか、心配な状況が続きます。

しかし、どんなときでも手話通訳の役割を維持していく、そんな考えから

12月の手話通訳者定例研修会では、山梨大学大学院総合研究部医学域教授で公衆衛生学も専門とされている山縣然太郎教授から標題によるお話を伺いました。

「感染症とは」から始まり、免疫機能、拡大防止に向けた基本対策、社会の対策、個人の対策という3層の対策、「手洗い」、「会話を含む咳エチケットのマスク」、「3密の回避（特に換気）」が重要であること、外出自粛8割の根拠などを分かりやすく解説いただきました。

また、直接的なコロナウイルス対策から派生して生じている、経済的な問題、学習の問題などにゼロリスク思考に陥ることなく、正しい情報ですべては命を守る問題として対応していくことが大事であることを話されました。

事前に提出された手話通訳者からの質問にも答えていただきました。

いくつか紹介しますと、

- 「検温、マスク、手指の消毒に加えての対策は？」⇒十分である
- 「感染したと自分で分かるか？」⇒無症状で気づくことはない、風邪症状、味覚嗅覚に異常を感じたら「かかりつけ医」もしくは保健所に連絡して適切に対応する
- 「ついやってしまいがちな気を付けなければならない行動は？」⇒感染は手に付着したウイルスが口腔や鼻腔の粘膜を通じて感染するので顔の粘膜に触らないようにする

などです。



聴覚障害者情報センターでは、対面通訳が困難な場合を想定し、遠隔手話通訳サービスを提供しています。タブレットを貸出し、センターに在席する手話通訳者が通訳します。

新型コロナウイルスの感染が落ち着かない状況の中、不安を感じた場合、あるいは濃厚接触者として医療機関を受診するときはご連絡ください。

FAX: 055-254-8665

メールアドレス: deafyamanashi@canayell.co.jp



# 情報センターイベントカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 手話通訳養成 (I)	8	9
10	11	12	13 要約筆記養成	14 手話通訳養成 (I)	15 手話通訳養成 (入)	16 手話通訳養成 (II) 要約筆記定研
17 要約筆記養成 (特) 難コミ	18	19 手話通訳定研	20	21	22 手話通訳養成 (入)	23 要約筆記養成 成人学級
24 手話通訳養成 要約筆記養成	25	26	27	28 手話通訳養成 (I)	29	30 手話通訳養成 (入)
31 要約筆記養成 成人学級						



日	月	火	水	木	金	土
	1	2 字幕ボラ研修	3	4	5	6 要約筆記養成
7 手話通訳養成	8	9 手話通訳定研	10	11	12	13 要約筆記定研
14 難コミ	15	16	17	18	19	20 盲ろう現任研修 認定試験準備の 為午後利用不可
21 要約筆記者認 定試験	22	23	24	25	26	27
28 成人学級	※2/20午後～2/21は 要約筆記者認定試験のため、 会議室等の使用不可					

**【年末年始の休館のお知らせ】**  
 12月28日(月)～1月4日(月)まで休館となります。  
 FAX・電話も繋がりませんので、ご注意ください。